

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
第9回 5GHz帯無線LAN作業班 議事概要

1 日時

平成30年4月19日(木) 16:00～16:30

2 場所

総務省 11階 共用1101会議室

3 出席者(敬称略)

主 任:梅比良 正弘

構 成 員:浅井 裕介、足立 朋子、伊形 仁宏、伊藤 泰成、小山 祐一、梶原 佑介、
金子 富、小嶋 一、齋藤 一、城田 雅一、津田 喜秋、野島 友幸、
羽田 利博、八木 宏樹(代理)、山田 正英、山脇 匡勝(代理)、
吉田 英邦(代理)

オブザーバ:鷹取 泰司(一般社団法人 電波産業会)

事務局(総務省):長嶺基幹通信室長、棚田課長補佐、柏崎第一マイクロ通信係長

4 配布資料

5GHz作9-1	委員会報告案のとりまとめ後の主な経緯
5GHz作9-2	平成29年度「無線LANのDFSにおける周波数有効利用の技術的 条件に関する調査検討」の報告(概要)
5GHz作9-3	次世代無線LAN IEEE802.11axの早期制度化に関する提案
5GHz作9-4	アドホックグループの見直し
5GHz作9-5	今後の検討スケジュール(案)
5GHz作参9-1	5GHz帯無線LAN作業班運営方針
5GHz作参9-2	5GHz帯無線LAN作業班 構成員名簿
5GHz作参9-3	5GHz帯無線LAN作業班(第8回)議事概要

5 議事

(1) 取組の状況報告

事務局が「5GHz作9-1」に基づき説明した。具体的な質疑等は以下のとおり。

- 梅比良主任 : 5.6GHz帯の上空利用に向けた本作業班での検討は終了し、
今後の制度化に向けた議論は総務省にて行われるという理解
でよいか。
- 事務局 : 仰るとおりである。なお、上空利用はドローン等による特定の
用途であるため、制度化に向けた議論は、移動通信課と調整中
である。

(2) 次世代無線LAN(IEEE802.11ax)の動向

事務局が「5GHz作9-2」に基づき説明した。次に、オブザーバの鷹取氏が「5GHz作9-3」に基づき説明した。具体的な質疑等は以下のとおり。

梅比良主任 : チャンネル144を利用することになれば、資料9-3 図4.1.1-3のようにISMやDSRCとの周波数の共用を検討する必要があると思われるが、共用できる見込みはあるのか。

事務局 : ISMは必要に応じて検討する。DSRCは関係者と確認しながら検討を進めたい。

(3) 今後の作業班の取組方針

事務局が「5GHz作9-4」、「5GHz作9-5」、「5GHz作参9-1」に基づき説明し、必要に応じてアドホックグループの見直しを行った上で、次世代無線LANの制度化に向けた検討を進めることを承認した。具体的な質疑等は以下のとおり。

金子構成員 : アドホックグループの構成員の入替えでは、新たに既存システムの関係者が加わるという理解でよいか。

事務局 : アドホックグループで取り扱うテーマに適した関係者にご参加いただく予定であり、構成は改めてご相談したい。グループをテーマ毎に分けるか否かも含めて検討中である。

(4) その他

第10回会合の開催については、後日事務局より連絡することとなった。

(閉会)